

当会の活動に市民の意見を反映

第18回 市民会議 開催

7月25日、当会会館において本年度第1回目の市民会議が開催された。市民会議は、毎回テーマを設定し、外部の有識者から意見を伺い、当会の活動に反映させるという目的で、毎年2回程度開催されており、今回で18回を迎えた。

今回は、「LGBTQ+」に関する弁護士会の取組み「及び」国際交流に関する弁護士会の取組み」という二つのテーマについて議論がなされた。

「LGBTQ+」に関する弁護士会の取組み「及び」国際交流に関する弁護士会の取組み」のテーマについては、人権擁護委員会の穂積匡史委員から、当会は性的少数者への差別発言を許さない旨の会長声明を发出したり、性的マイノリティの権利に関する会員向け研修会や市民向けの無料電話相談会を行うなどの取組みをしていること、一方で市民からの相談件数は伸び悩んでいることなどの報告がなされた。

市民委員からは、相談会の回数を重ねることに より周知されるという経験、行政や学校といった支援機関への周知が重要であるという指摘、弁護士会自体が性的少数者の権利擁護を当然のこととする強い姿勢を打ち出すことが重要であるという意見等が述べられた。

「国際交流」に関する弁護士会の取組み「及び」国際交流に関する弁護士会の取組み」のテーマについては、国際交流委員会の井澤秀昭委員長から、海外の法律家団体（京畿中央地方弁護士会、上海市律師協會等）と友好協定の締結、協同セミナーの開催等の交流を重ねる

SDGs 神奈川県弁護士会のSDGs 第6回

脱炭素化とペーパーレス化

弁護士会が地球環境を守るためにどのような活動ができるのだろうか。今回は、公害・環境問題委員会のこれまでの活動とSDGsの掲げる目標との結び付きを説明し、今後弁護士会として取り組むべき課題を検討したい。

特に近時では、横須賀市における石炭火力発電所の建設問題に着目し、同問題に関して東京地裁に係属中の行政訴訟（環境影響評価書に対する確定通知の取消訴訟）の動向を継続的に注視するとともに、法的論点の分析を進めている。

また当会では、2020年6月、国、自治体や事業者に対して、前記の石炭火力発電所建設計画の見直しや脱炭素化に向けた提議がなされた。

最後に当会高岡俊之会長から、いずれのテーマについても、市民委員からの提案、意見を参考に、今後の活動に反映させていきたいとの言葉とともに、参加いただいた市民委員への謝辞が述べられた。

（会員 滝島 広子）

SDGs ウェディングケーキモデル

SDGs 17の目標は、経済圏、社会圏、生物圏の3つの圏域に分類され、相互に関連し合っている。このモデルは、SDGsの達成に向けた取り組みの方向性を示している。

神奈川県弁護士会新聞

発行所
神奈川県弁護士会
横浜市中区
日本大通9番地
☎ 045-211-7707
URL <https://www.kanaben.or.jp/>

2022年度
関弁連定期弁護士大会・シンポジウム
日時 2022年10月14日（金）
シンポジウム
10時～13時
定期弁護士大会・特別講演 14時～17時30分
場所 東京會館



神奈川県のアウトラインと天秤をモチーフにした神奈川県弁護士会のロゴマークです。

ここ数年SDGsがにぎやかです。私がSDGsを知ったきっかけは、2020年の東京五輪開催の決定後、選手村で提供される食事の食材が動物福祉の世界基準に満たないため、一部の海外五輪選手から抗議がされた、という記事がきっかけです。その記事内に、SDGsの目標達成について触れられていたことから興味を持つようになりました。動物福祉とSDGsは、目標15「陸の豊かさを守ろう」に関係します。例えば、卵を安く手に入れるには、卵を産むことに特化した鶏の種類を作り、かつ、繁殖用を除き、雌のひよこだけを育てる必要があります。▼そこで、卵が孵化した時点で雄雌に分け、雄のほうは殺処分する、ということが今でも普通に行われています。雄と雌は大体半々ですから、ひよこの半分はシュレッダー行きです。これだけの犠牲を払う一方で大量のフードロスが発生しているという現状は、果たして持続可能なのか、と強く疑問に思います。▼ささやかですが、かつては卵が貴重だったことを踏まえ、最近は平飼い卵生活に切り替えました。▼SDGsって何？という方は、身近で興味の持てることからたどるのがおすすめです。▼小鳥も卵もSDGs！（青木 敦子）

山ゆり



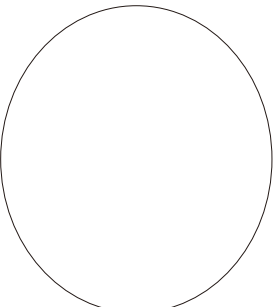
BC級戦犯 横浜裁判

第3回

BC級戦犯裁判と

山田盛弁護士 (後編)

会員 池田 直樹



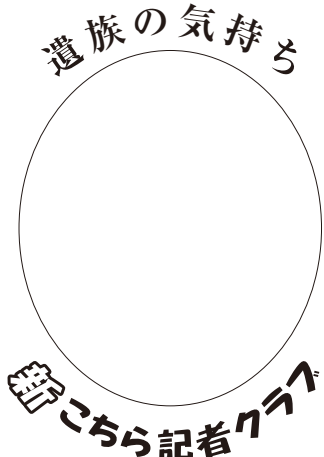
山田盛弁護士

員会がどう判断したのか不明なままのことも多かった。裁判では、アメリカ軍が選任したアメリカ人の弁護人のほか日本人の弁護人の選任も許されたが、裁判は英語で行われたので、日本人弁護人は、その弁護活動が困難であった。戦犯裁判の対象者は、巣鴨拘置所に多数拘禁さ

を殴ったとして起訴された事件で、弁護人は、殴られたとする複数の捕虜の供述は一致しておらず、殴ったのが被告人なのか、他の者なのかはつきりせず、むしろ他の者だと認められるなどと主張したが、判決は、懲役20年であった。

弁護人は、判決に対する再審査申立てにおいて、上記の事実認定上の問題のほか、殴っただけの事件で、懲役20年というのは、一般社会の刑事事件に比してあまりに不均衡とも主張したが懲役20年は覆らなかった。

このように長期の懲役になった者は、講和条約の後、日本政府によって釈放されたが、死刑になった者は当然ながら戻らなかった。



東京・秋葉原で2008年に17人が死傷した無差別殺傷事件で、法務省は7月26日に殺人などの罪で死刑が確定したへかとう・ともひろ・加藤智大の死刑の刑を執行した。

この日は神奈川県相模原市の障がい者施設「津久井やまゆり園」で入所者ら45人が殺傷された日でもあった。私が加藤死刑囚の死刑執行のニュースを知ったのは津久井やまゆり園で執り行われる追悼式に向かってる車の中だった。

加藤死刑囚は2008年秋葉原の歩行者天国にトラックで突っ込んだうえ、7人を殺害し、10人に重軽傷を負わせた殺人などの罪に問われていた。

一・二審は、「相手のことを死刑が確定していた。一方、「津久井やまゆり園」で入所者ら45人を殺傷した罪に問われている植松聖死刑囚は今年4月、横浜地裁に裁判のやり

直しを請求、その後の取材で裁判のやり直しを求めた理由が明らかになった。

「いろんな制限がかかっているので外部と接触したい」。植松死刑囚は親族以外と面会できない状況に不満を募らせ、自ら再審請求を行った。この植松死刑囚の言い分を聞いて遺族はどう感じただろうか。

また、加藤元死刑囚の死刑執行を聞いて遺族はどう感じただろうか。

今日に至るまで遺族がどんな日々を送ってきたか、想像を絶するものだと思うが可能な限り遺族の気持ちに寄り添いたいと思う。

フジテレビ社会部 魚住 薫

リアル出席と支部中継のはざまで

会員 角井 駿輔 (66期)

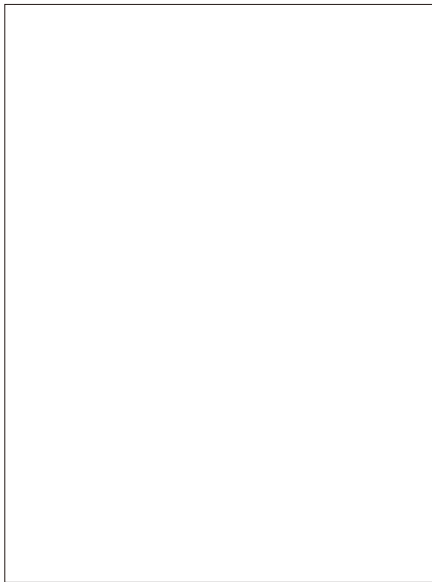
常議員会

常議員になるのは今回が初めてであり、魅惑と神秘の支部である横須賀支部の代表として立候補した。

初回の常議員会では意気揚々と本部会館に出かけたが、横須賀支部からの選出は当職のみ、修習同期も誰もいないという超アウェーの空気に吞ま

れ、端つこの方にちよこんと座っていたところ、支部中継に関する求意見事項があり、期せずして初回から発言をすることになった。ド緊張の中での発言だったので雑駁な話になってしまったが、議長をはじめとする常議員の先生方が温かく見守ってくれているように感じ、なんとか意見を言い切ることができた。

その後は支部中継が導入された恩恵により、主として支部会館から出席をしていたが、便利である反面、どうしても議論についていけない部分があるように感じている。それは機材の関係もあるが、より根本的な問題と



しては議場の熱量がうまく伝わらないという点にあるように思う。他方で、他支部では複数の先生方が支部会館にいらつしゃるところ、当職は一人ぼっちなので、モチベーションを保ちづらいという面があるのかもしれない。そうしたところ、久しぶりに本部会館で常議員会に出席する機会があったのだが、やはり現地で参加する常議員会には活気があった。活発な議論を聞いて、議案によって事前に考えていた意見を変更したものもあった。今後もリアル出席と支部中継のはざまで悩みそうだが、横須賀支部の代表として皆勤賞で出席したい。

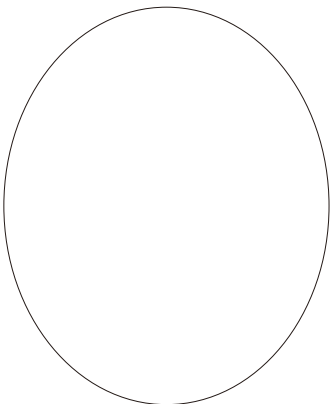
理事者室



副会長 波田野 馨子

「時短」生活

多くの弁護士は忙しい。それに加えて、理事者としての活動が加われば、多忙を極め、育児や



が、副会長としての業務には、理事者会、常議員会、各委員会や会内外行事への参加、外部の方との面会、日直、その他イレギュラー対応があり、確かに、時間的に決して余裕はない。

そこで、私は、副会長の業務と通常業務・生活との両立のため、通常業務の効率化に加え、徹底した「時短」生活を意識するようにになった。

まず、就任前、自宅の中を徹底的に断捨離した。物を少なくすると、掃除や洗濯が簡単になり、日々の家事が楽に早く済む。断捨離できない、書籍や思い出のある物は、レンタルスペースに送った。レンタルスペースという、倉庫一室を借りるイメージがあるが、最近、段ボール一つから手軽にスマホ一つで預けられるサービスもあり、料金も手頃。私は、絞りに切れずに沢山の段ボールを預けることになったが、これで、クローゼットや部屋の中がスカスカになり、洋服の手入れや掃除の手間が圧倒的に削減された。

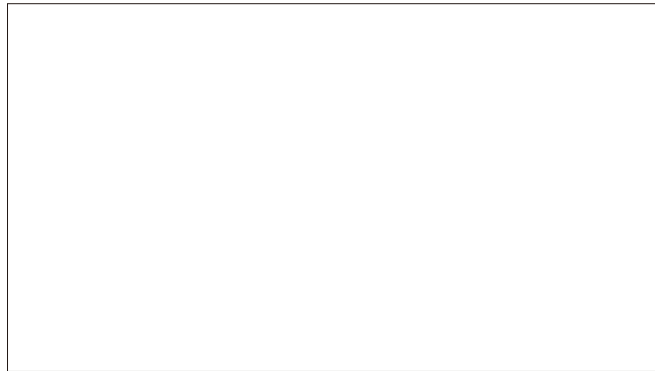
更に、家事代行サービスの利用も欠かせない。こちらも、気軽なマッチングサービス等もあり、スマホ一つで簡単に、手軽に求めてもらえる。そして、現代の4種の神器と私が思っている、自動調理器、お掃除ロボット、自動洗濯乾燥機、自動窓拭きロボットを駆使すれば、家事の負担は限りなく減らすことができたように思う。今は、自宅に訪問して作り置き料理を調理してくれる、作り置きサービスも検討中。

怠惰と言わず、工夫とやっていただければ幸いである。会員の皆様の時短術も、ぜひ、お寄せ下さい。

かなパブ最前線

かなパブに対する
ご支援をお願いします

公設事務所支援委員会 副委員長 長谷山 尚城



特別部会における会議の様子

かながわパブリック法律事務所(以下「かなパブ」)は、2009年9月に、県内初の都市型公設事務所として設立された。その主たる目的は、全国各地の弁護士不足地域をなくし、良質なリーガルサービスを提供することである。これまでも継続的に、若手弁護士を育てて全国の弁護士不足地域に送り込んでおり、かなパブ関係者がこれまで赴任した地域は全国

で延べ20箇所以上になる(当県内では寒川町や足柄上郡にも赴任し定着している)。こうした役割を果たしているかなパブではあるが、コロナ禍の下、経営状況が非常に悪化しており、当会からの借入金額も増えている(2004年の臨時総会決議で300万円までの借入枠があるが、2022年7月末現在、借入金残高は2420万円となっている)。

この点、かなパブは若手が仕事を覚えて移れるようになると地方に送り出していること、社員弁

自営業・フリーランスのみなさんへ。

あなたにもプラスも。

掛金はぜんぶ所得控除になるから、税金がおトクに！

一生運もらえる年金を上乗せできます！

わたしも入っています。優待

人生100年時代の「プラス年金」

日本弁護士国民年金基金

60歳以上65歳未満の方や海外居住されている方で、国民年金に任意加入されている方も国民年金基金に加入できます。※非居住者が支払った掛金は、所得控除対象外です。

資料請求・ご相談・お問い合わせは
お気軽に今すぐこちらへ！

日本弁護士国民年金基金 03-3581-3739
〒100-0013 東京都千代田区麹町1-1-3 弁護士会館14階 <http://www.bknk.or.jp/>

今回は、情報セキュリティに関する最近の話題(2件)についてです。

1件目は、刑事手続のIT化です。法務省に設置された「刑事手続における情報通信技術の活用に関する検討会」が、本

年3月15日、報告書を取りまとめました。この報告書では、「書類」等をオンラインにより「発受」することや、一定のセキュリティ措置を前提に、この内容の確認は必須で

2件目は、「Emotet」に関する最近の話題(2件)についてです。情報セキュリティについては、本年6月の日弁連の総会で、「弁護士情報セキュリティ規程」の制定が可決されており、この内容の確認は必須で

注意をお願いします。(会員 浅葉 康之)



情報セキュリティを考える

はじめましょう

その 35

情報セキュリティの最近の話題

ることなどが提言されています(報告書は法務省のホームページで見ることができます)。

具体的議論はこれからですが、これらが実現すれば、書類や人の物理的な移動が省略できるため、弁護士業務の利便性の向上が期待できます。ただし、この報告書は、情報セキュリティを確保する必要があること(情報漏えいの防止)についても言及しており、弁護士人も情報漏えい防止のための措置をとることが必要としています。

Emotetは、端末からメールアカウント情報・メール本文・アドレス帳などの情報を窃取し、窃取した情報を利用して、実在の組織や人物になりすましたメールを送信することで感染拡大を狙っています。つまり、メールを受け取った側が、警戒せずにメールや添付ファイルを開封しやすいという特徴があります。

Emotetに限りませんが、コンピュータウイルスは口が巧妙化しており、今後も十分な注意をお願いします。



飛行機 バス

乗り遅れ続出！波乱な予感！

2年連続年間王者獲得！

3打差

井上雅

会員

北海道に集結した精鋭16名

横浜法曹ゴルフ会は、7月8〜9日、北海道が誇る名門「輪厚」と「ノース」にて7月の月例会及び取次戦(過去1年間の月例優勝者のみで争われる年間王者決定戦)を開催した。コロナ禍のため3年振りの北海道決戦の参加者は16名。そのうち取次戦の有資格者は9名であった。

久々の遠征のためか、羽田では榎本ゆき乃会員が飛行機に乗り遅れ(集合時間を勘違い)、千歳では河野力丸会員が迎えるバスに乗り遅れる(点呼ミス)など波乱を予感させるスタート前であった。初日を終えて取次戦の優勝戦線は瀬古宜春、井上雅彦、堀口憲治郎、渡辺孝太郎会員に絞られ、最終日はこの4人が同組で熱戦を繰り広げた。

日弁連野球連盟理事長として野球とゴルフの両立を目指す瀬古会員は、終始安定したプレーで優勝から4打差の4位に食い込んだ。

日弁連全国野球大会で MVP に輝いた実績を持ちながら、最近ではゴルフ一択の堀口会員は、最

終18番池越えのロングを見事ツォン。イーグル逃しのバーディ(ハーフ40)で締め、優勝から3打差の2位タイと健闘した。最後までデットヒートを繰り広げたのは、井上会員と渡辺会員。プロ級の飛距離を誇る渡辺会員に切れ味鋭いアイアンで対抗する井上会員。どちらが勝つてもおかしくない接戦であったが、最後は井上会員が3打差をつけ、2年連続の年間王者を獲得した。

月例は、初日に飛び出した石井晋一会員が、重圧に押し潰されそうになりながらも、なんとか逃げ切り、来年の取次資格を取得した。

横浜法曹ゴルフ会では、修習期やハンデの異なる会員が、皆楽しくプレーしている。入会希望の方は、いつでも筆者に連絡してほしい。

(会員 武藤 一久)

編集後記

国際的な価値観に即した言葉が多い号です。もともと、この手のものに出くわすと、笑顔な説教が予感される人もいます。かも知れません。さて、どんなものでございましょう。

デスク 勝俣 豪
記者 青木 敦子
長谷川 篤司
川添 啓明
本間 久雄
北川 貴史
安達 慎司
長谷川 康